

< 掲示板の記入例 >

※「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止および石綿飛散漏えい防止対策マニュアル（厚生労働省・環境省 令和3年3月）」より

石綿含有吹付け材、石綿含有保温材等の除去等を含む作業（届出対象）記入例 ※掲示サイズは（横 420mm 以上、縦 297mm 以上）

建築物等の解体等の作業に関するお知らせ			
本工事は、石綿障害予防規則第4条の2及び大気汚染防止法第18条の15第6項の規定による事前調査結果の報告 ^{注1)} 、労働安全衛生法第88条第3項（労働安全衛生規則第90条第五号の二）の規定による計画の届出及び大気汚染防止法第18条の17第1項の規定による作業実施の届出を行っております。			
石綿障害予防規則第3条第8項及び大気汚染防止法第18条の15第5項及び同法施行規則第16条の4第二号の規定により、解体等の作業及び建築物の特定粉じん排出等作業について以下のとおり、お知らせします。			
事業場の名称：〇〇〇〇解体工事作業所		発注者または自主施工者	
届出先及び届出年月日	東京〇〇 労働基準監督署	令和〇〇年〇〇月〇〇日	氏名又は名称(法人にあっては代表者の氏名)
	東京(都)道・府・県 〇〇市(区)	令和〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇不動産(株) 代表取締役社長 〇〇 〇〇
	調査終了年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	住所
	看板表示日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	東京都〇〇区〇-〇
解体等工事期間	令和〇〇年〇〇月〇〇日 ~	令和〇〇年〇〇月〇〇日	元請業者(工事の施工者かつ調査者)
石綿除去(特定粉じん排出)作業等の作業期間	令和〇〇年〇〇月〇〇日 ~	令和〇〇年〇〇月〇〇日	氏名又は名称(法人にあっては代表者の氏名)
調査方法の概要(調査箇所)		〇〇建設株式会社 代表取締役社長 〇〇 〇〇	
【調査方法】書面調査、現地調査、分析調査			
【調査箇所】建築物全体(1階~4階)			
※改修等の場合は、改修等を実施するために調査した箇所を記載する。 (例)1階機械室(改修等工事対象場所)			
調査結果の概要(部分と石綿含有建材(特定建築材料)の種類、判断根拠)		住所	
【石綿含有あり】		東京都〇〇区〇-〇	
1階 機械室 吹付け石綿 クリソタイル		現場責任者氏名	
1階 機械室 保温材(石綿含有とみなし)		〇〇 〇〇	
エレベーターシャフト 吹付け石綿 クリソタイル		連絡場所 TEL	
【石綿含有なし】〇数字は右下欄の「その他の事項」を参照		〇〇 〇〇 を石綿作業主任者に選任しています。	
1~4階 トイレ内PS 保温材③		調査を行った者(分析等の実施者)	
1~4階 床:ビニル床③、天井:フレキシブルボード④ その他の建材④⑤		氏名又は名称及び住所	
石綿除去等作業(特定粉じん排出等作業)の方法			
石綿含有建材(特定建築材料)の処理方法	除去・囲い込み・封じ込め・その他		
巻じん排気装置	機種・型式・設置数	・機種:集じん・排気装置・型式:〇〇〇-2000・設置数:〇台	
	排気能力(m ³ /min)	〇〇m ³ /min(1時間あたりの換気回数4回以上)	
	使用するフィルタの種類及びその集じん効果(%)	HEPAフィルタ・補修効率:99.97%・粒子径:0.3µm	
使用する資材及びその種類	・湿潤用薬液:〇〇〇〇・固化用薬液:〇〇〇〇 ・隔離用シート(厚さ:床〇mm、その他〇mm)・接着テープ等		
その他の石綿(特定粉じん)の排出又は飛散の抑制方法	(例)吹付け層に薬液を含浸する等により表面を被覆する封じ込め工法 ^{注2)} (例)板状材料で完全に覆うことにより密閉する囲い込み工法 ^{注2)}		
備考:その他の条例等の届出年月日	〇〇区建築物の解体工事等に関する要綱(令和〇〇年〇月〇日届出)		
事前調査・試料採取を実施した者		①特定建築物石綿含有建材調査者 〇〇環境(株)氏名 〇〇 〇〇 登録番号 〇〇〇〇 住所:東京都〇〇区〇〇-〇〇	
分析を実施した者		②〇〇環境分析センター 氏名 〇〇 〇〇 登録番号 〇〇〇〇 住所:埼玉県〇〇市〇〇-〇〇	
調査結果の概要に示す「石綿含有なし」に記載された〇数字は、以下の判断根拠を表す		①目視 ②設計図書 ③分析 ④材料製造者による証明 ⑤材料の製造年月日	

注1) 工事に係る部分の床面積の合計が80m²以上の建築物の解体工事、請負金額100万円以上の建築物の改修等工事等の場合

注2) 封じ込め工法や囲い込み工法を行う場合の記載例

レベル1,2

石綿含有成形板等、石綿含有仕上塗材の除去等作業（届出非対象）記入例 ※掲示サイズは（横 420mm 以上、縦 297mm 以上）

建築物等の解体等の作業に関するお知らせ			
本工事は、石綿障害予防規則第4条の2及び大気汚染防止法第18条の15第6項の規定による事前調査結果の報告を行っております。 ^{注)}			
石綿障害予防規則第3条第8項及び大気汚染防止法第18条の15第5項及び同法施行規則第16条の4第二号の規定により、解体等の作業及び建築物の特定粉じん排出等作業について以下のとおり、お知らせします。			
事業場の名称：〇〇〇〇解体工事作業所		発注者または自主施工者	
調査終了年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	氏名又は名称(法人にあっては代表者の氏名)	
看板表示日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇〇〇開発(株) 代表取締役社長 〇〇 〇〇	
解体等工事期間	令和〇〇年〇〇月〇〇日 ~	令和〇〇年〇〇月〇〇日	住所
石綿除去(特定粉じん排出)作業等の作業期間	令和〇〇年〇〇月〇〇日 ~	令和〇〇年〇〇月〇〇日	東京都〇〇区〇-〇
調査方法の概要(調査箇所)		元請業者(工事の施工者かつ調査者)	
【調査方法】書面調査、現地調査、分析調査			
【調査箇所】建築物全体(1階~3階)			
調査結果の概要(部分と石綿含有建材(特定建築材料)の種類、判断根拠)		住所	
【石綿含有あり】		東京都〇〇区〇-〇	
外壁 石綿含有仕上塗材 クリソタイル		現場責任者氏名	
1階 軒天 石綿含有けい酸カルシウム板第1種 クリソタイル		〇〇 〇〇	
2階 事務室・会議室A 床 ビニル床タイル クリソタイル		連絡場所 TEL	
2階 給湯室 天井 フレキシブルボード クリソタイル		〇〇 〇〇 を石綿作業主任者に選任しています。	
【石綿含有なし】〇数字は右下欄の「その他の事項」を参照		調査を行った者(分析等の実施者)	
1階 倉庫 吹付けロックウール ③		氏名又は名称及び住所	
1~3階 床:ビニル床シート⑤、壁:けい酸カルシウム板第1種④ 天井:岩綿吸音板③ その他の建材④⑤		事前調査・試料採取を実施した者	
石綿除去等作業(特定粉じん排出等作業)の方法			
石綿含有建材(特定建築材料)の処理方法	除去・その他		
特定粉じんの排出又は飛散の抑制方法	石綿含有成形板等 (例)フレキシブルボードは原形のまま取り外す。ビニル床タイルは湿潤化しながらパール等で除去を行う。石綿含有けい酸カルシウム板第1種は作業場を養生シートで養生(隔離)し、湿潤化しながらパール等で除去を行う。 石綿含有仕上塗材 (例)剥離剤併用手工具ケレン工法。外周を養生シートで養生(隔離)し、除去を行う。		
使用する資材及びその種類	・湿潤用薬液:〇〇〇〇・剥離剤:〇〇〇〇 ・養生シート(厚さ:〇mm)・接着テープ等		
備考:その他の条例等の届出年月日	〇〇区建築物の解体工事等に関する要綱(令和〇〇年〇月〇日届出)		
調査結果の概要に示す「石綿含有なし」に記載された〇数字は、以下の判断根拠を表す		①目視 ②設計図書 ③分析 ④材料製造者による証明 ⑤材料の製造年月日	

注) 工事に係る部分の床面積の合計が80m²以上の建築物の解体工事、請負金額100万円以上の建築物の改修等工事等の場合

レベル3

石綿使用なし記入例 ※掲示サイズは(横 420mm 以上、縦 297mm 以上)

建築物等の解体等の作業に関するお知らせ		
本工事は、石綿障害予防規則第4条の2及び大気汚染防止法第18条の15第6項の規定による事前調査結果の報告を行っております。 ^{注)} 大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則及び条例等に基づく調査結果をお知らせします。		
事業場の名称:○○○○解体工事作業所		
調査終了年月日	令和○○年 ○月 ○日	元請業者(解体等工事の施工者かつ調査者)
看板表示日	令和○○年 ○月 ○日	氏名又は名称(法人にあつては代表者の氏名)
解体等工事期間	令和○○年 ○月 ○日 ~ 令和○○年 ○月 ○日	○○建設株式会社 代表取締役社長 ○○○○
調査方法の概要(調査箇所)		住所
【調査方法】書面調査、現地調査、分析調査 ※建物の着工日で石綿含有なしを判断した場合は、書面調査のみとなる		東京都○○区○-○
【調査箇所】建築物全体(1階~3階)		現場責任者氏名 ○○○○
		連絡場所 TEL 03-×××-××××
調査結果の概要(部分と石綿含有建材(特定建築材料)の種類、判断根拠)		
石綿は使用されていませんでした。(特定工事に該当しません)		調査を行った者(分析等の実施者)
【石綿含有なし】○数字は右下欄の「その他の事項」を参照 1~3階 床:ビニル床タイル③ ビニル床シート③、天井:岩綿吸音板③、けい酸カルシウム板第1種③、壁:スレートボード⑤ 外壁 仕上塗材③		氏名又は名称及び住所 事前調査・試料採取を実施した者 ①日本アスベスト調査診断協会登録者 氏名 ○○ ○○ 会員番号 ○○○○ 住所:東京都○○区○○-○○
※建築物の着工日で石綿含有なしを判断した場合の例 建築物の着工日が2006年9月1日以降⑤		分析を実施した者 ②○○環境分析センター 代表取締役社長 ○○ ○○ 氏名 ○○ ○○ 登録番号 ○○○○ 住所:埼玉県○○市○○-○○
		その他の事項
		調査結果の概要に示す「石綿含有なし」に記載された○数字は、以下の判断根拠を表す ①目視 ②設計図書 ③分析 ④材料製造者による証明 ⑤材料の製造年月日

注)工事に係る部分の床面積の合計が80m²以上の建築物の解体工事、請負金額100万円以上の建築物の改修等工事等の場合

石綿無し

※掲示板の大きさは日本産業規格 A3 判以上 (縦、横のどちらでも可)